

第6回ビブリアバトル in 八戸 予選会

2019 知的書評合戦
BIBLIO BATTLE
in HACHINOHE **6**

来月2日 決勝戦

知的書評合戦「第6回ビブリアバトルin八戸」(デーリー東北新聞社、八戸学院大共催)の予選会が9月29日、八戸市の同社で開かれ、青森、岩手両県から計29人が出場した。「チャンプ本」を獲得した6人は、11月2日開催の決勝戦でより熱い戦いを繰り広げる。予選通過者を紹介する。

(稲村莉 船渡拓)

【第6回ビブリアバトルin八戸予選会】

▽日時 9月29日(日)
▽場所 デーリー東北新聞社6階メディアホール(高校生部A)C
デーリー東北ホール(大学生部、一般部A、B)
▽発表者 高校生15人、大学生6人、一般8人
▽司会 大地球さん(デーリー東北ホール)三浦文恵さん(メディアホール)

ビブリアバトル予選会で、予選突破者以外の出場者は次の通り。(敬称略、年齢、市町村、タイトル)

【高校生の部】▽佐藤璃々(加17)岩手県陸前高田市(「ささなみのよる」)▽茅森恵(15)八戸市(「いまさら裏といわれても」)▽工藤心響(16)階上町(「か」)▽しし(17)八戸市(「面白くて眠れなくなる数学」)▽高橋蓮(16)南部町(「魔法をかける」)アオガク「箱根駅伝」制覇までの4000日(「磯沼恵吾」)八戸市(「ジミ」)の奇妙

な冒険が教えてくれる最強の心理戦(略)▽橋爪駿(17)八戸市(「天使のはしこ」)▽佐野エリナ(16)大久保市(「グラスホッパー」)▽大久保瑠生(15)八戸市(「君たちはどう生きるか」)▽横山咲美(16)南部町(「羊と鋼の森」)▽鈴木詩乃(16)八戸市(「読解!」)▽ドラえもん(講座)世代・フェミニズム・国際・経済・スクールカースト・郊外と家族(「寺澤綾夏」)八戸市(「手紙」)

【大学生の部】▽山本光美(21)八戸市(「二日がしあわせになる朝」)▽田端ひなる(20)八戸市(「コンビニ人間」)▽高橋夢斗(17)八戸市(「あひる」)

【一般の部A】▽井ノ上洋一(54)八戸市(「千日の瑠璃」)▽山内文子(66)八戸市(「はい!こちら子ども記者相談室」)▽古銅光治(67)八戸市(「縄文人からの伝言」)

【一般の部B】▽原田清信(69)八戸市(「甲子園の負け方」)教えます(「田茂順子」)68)八戸市(「ことはの生まれる景色」)▽菅原靖雄(47)八戸市(「あひる」)

たかはし ひろき
高橋 大樹さん(22)
=八戸市、八戸学院大4年=

言葉に対して新たな発見

大学生の部

ビブリアバトル参加を決めた時、真っ先に頭に浮か



舟を編む
三浦しん著、光文社

「第6回ビブリアバトル」の情報は、デーリー東北ホームページの特設ページ(<http://feature.daily-tohoku.co.jp/biblio/2019/biblio.htm>)、フェイスブック(<https://www.facebook.com/bibliobattle.hachinohe>)でも公開している。

んだのがこの本。辞書作りを題材とした小説で、言葉に敏感な主人公な個性な人物が登場する。いろいろな人々と交流してきた大学生活を経て、自分は言葉を知らないな、と気付く場面がある。この本を読むことで、言葉に対して新たな発見が得られた印象深い一冊だ。まさか自分が残るとは思っていなかった。決勝では、自分の気持ちをもっと素直に伝え、この本を既に読んでいたことがある人でも、読み直したくなるような発表にしたい。